

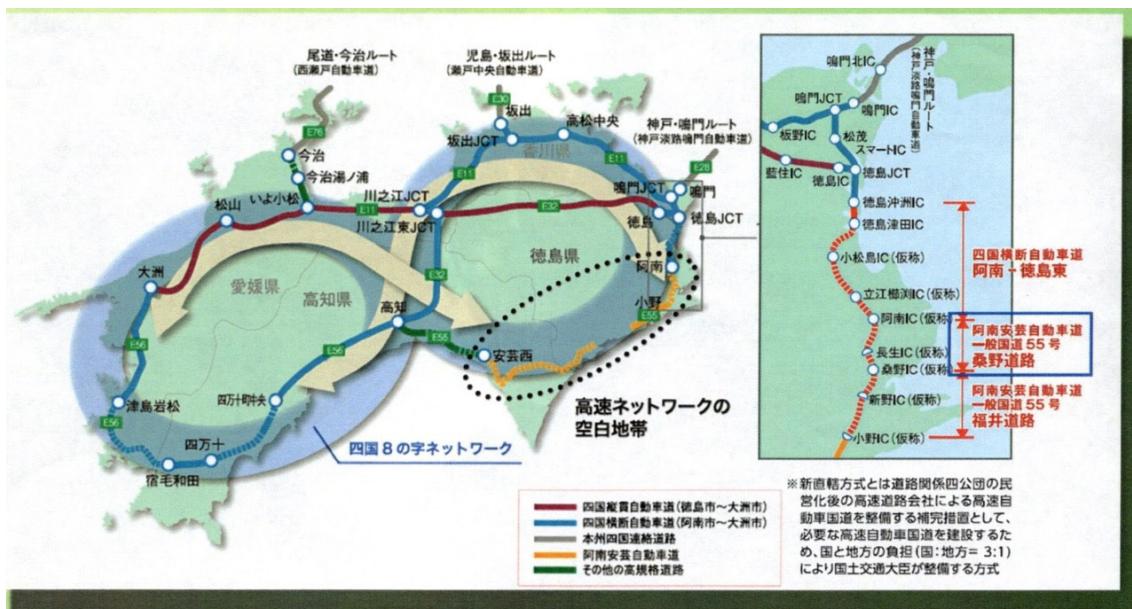


NPO 法人臨床トンネル工学研究所 四国支部

「長生・明谷トンネル工事」現場見学会報告書

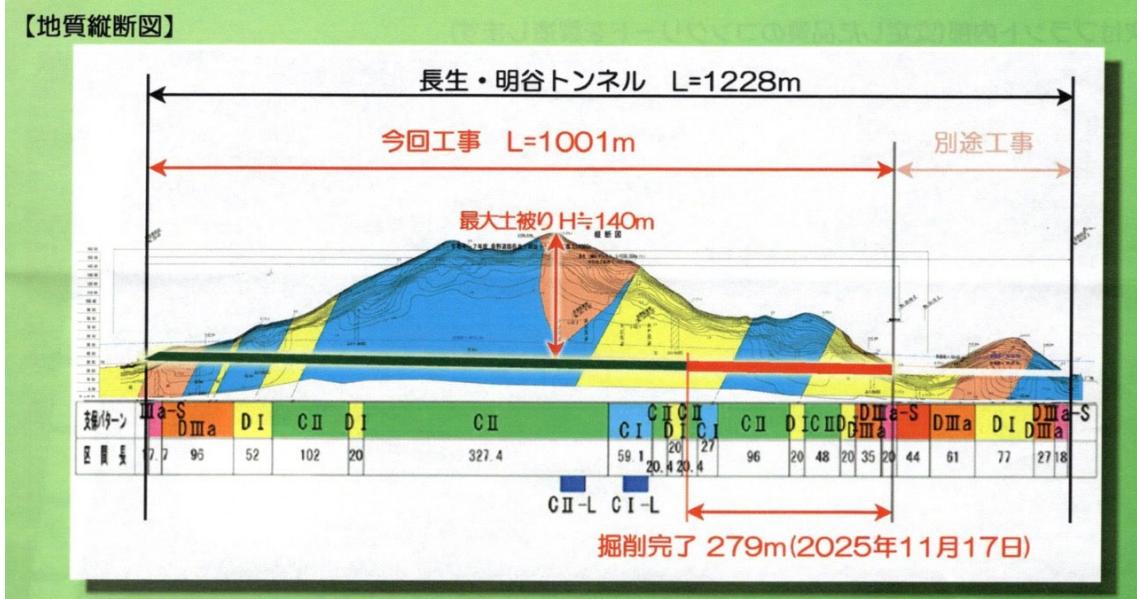
地域活動部会四国支部では、2025年11月28日に、徳島県内で施工中の「長生・明谷トンネル工事」(ながいけ・あかだにT:清水建設株式会社施工)の現場見学会を開催しました。工事関係者の皆様には、ご支援・ご協力をたまわり、心よりお礼申し上げます。

当工事は、一般国道55号桑野道路のうち、L=1001mのトンネル工事で、現場では破碎帯などの地質不良部に対して適切な対応を取りながら、掘削が進められておりました。掘削工の自動化にも取り組まれており、まさに先進的な現場でした。



工事概要は次のとおりです。

1. 工事名 : 令和4-7年度 桑野道路長生・明谷トンネル工事
2. 施工者 : 清水建設株式会社
3. 発注者 : 国土交通省 四国地方整備局
4. 工事場所 : 徳島県阿南市長生町
5. トンネル概要 :
 - ・延長 1001m 工事延長 1080m 発破掘削 NATM (内空断面 93.7 m²)
 - ・(地質) 砂岩、泥岩
 - ・(主な特徴) 大断面、破碎帯、DIII区間における安全・確実な施工



<< 見学会の状況 >>

見学会は、次の日程で開催しました。

11月28日（金） 13:30～16:00 工事説明、現場見学、意見交換ほか

23名様に参加していただきました。

当日、トンネルの切羽は290mほどの地点にあり、坑口から徒歩にて切羽に向かいました。現在の切羽は亀裂が多く鏡肌ということで、支保パターンはD I -b、先受けにフォアポーリング、鏡に長尺鏡ボルトを採用中でした。

ちょうど自動吹付が行われているところで、後方に設置して頂いた大型のモニターで「リアルタイムに吹付厚さが確保される様子」を拝見できました。

立ち会っていただいた開発担当者様は、「現在も細かな改善を続けている」と説明しておられましたが、すでに実用段階にあり大変驚かされました。

また削孔、ロックボルト工他、掘削作業全般の自動化にも取り組まれていました。

トンネル掘削の自動化は、適用条件の厳しさから、非常に難しいことではあります、開発者及び現場の皆様の実用化に向けた努力に敬服した次第です。

また、事務所では、「ICT施工による省力化、効率化」について、採用中の様々な技術を紹介していただきました。

今後のますますの発展を楽しみに見学会を終えました。

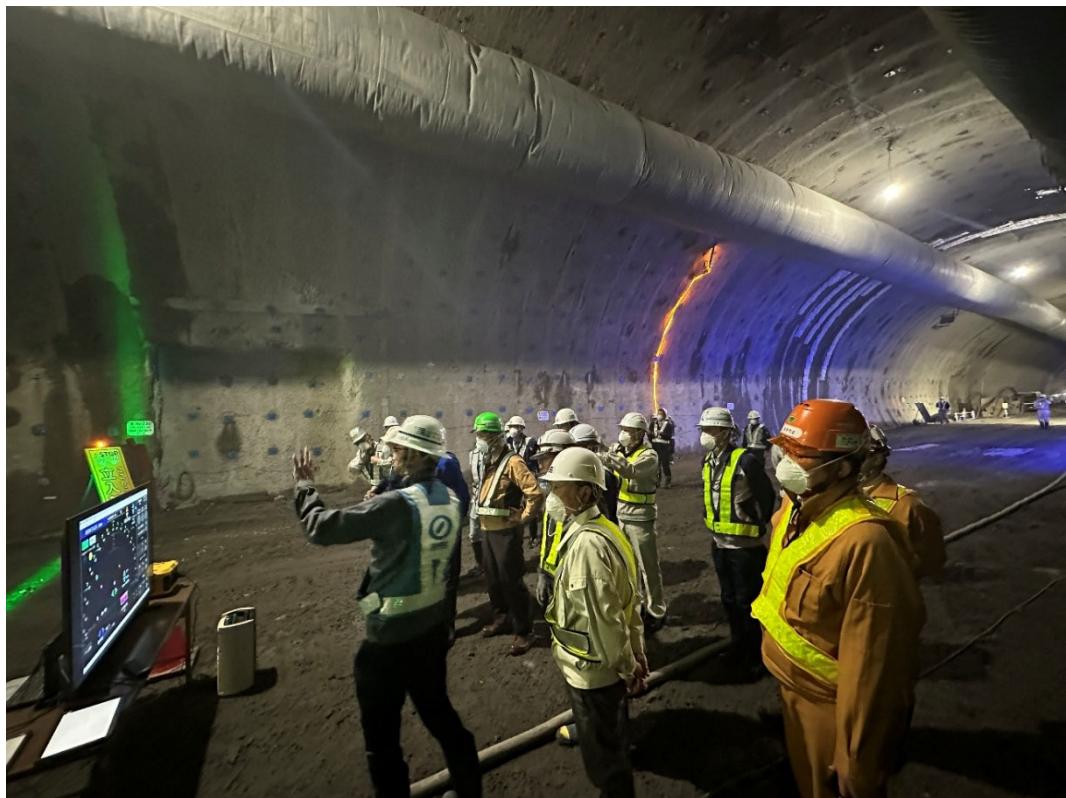
19時から徳島市内にて、15名で恒例の懇親会を開催しました。熱いトンネル談義が交わされたことは言うまでもありません。

工事関係者並びに参加者の皆様に改めて感謝申しあげます。

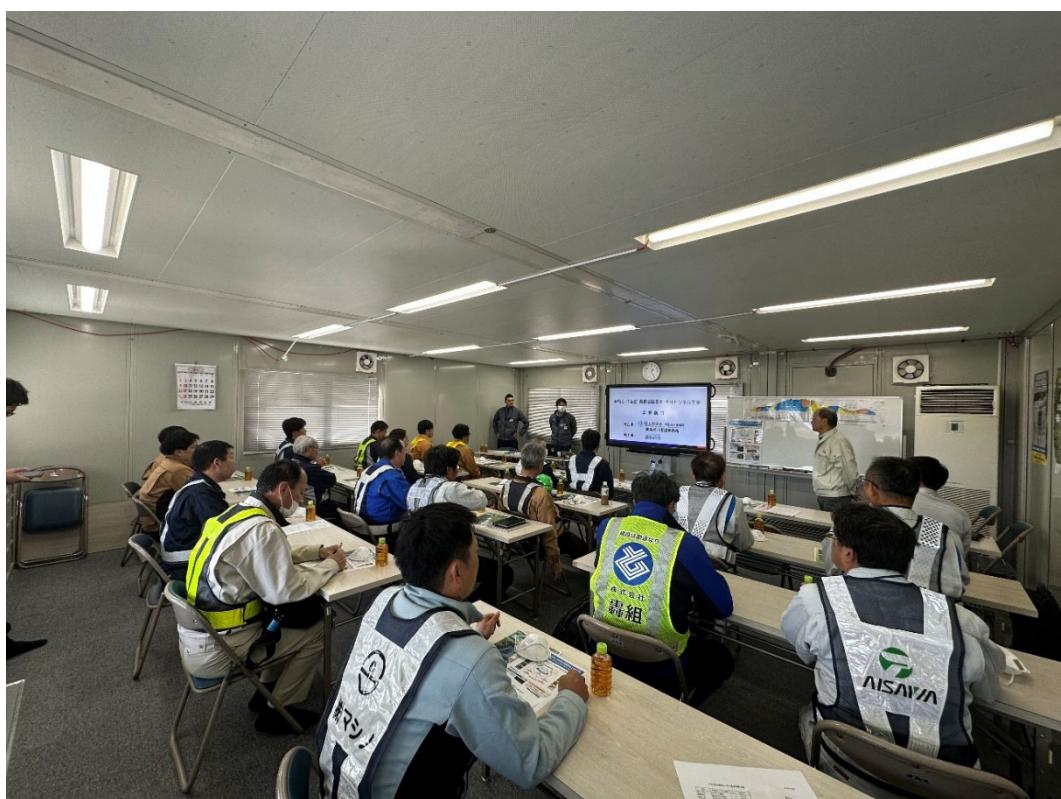
以上

記) 四国支部 福家

モニターに映し出された吹付状況



事務所での説明会の状況



坑口での集合写真

